



会 長 石橋 信雄 青少年奉仕 小井田和哉
副 会 長 正部家光彦 幹 事 中村 稔彦
クラブ奉仕 正部家光彦 会 計 山村 和芳
会長エレクト 正部家光彦 会場監督 築館 智大
職業奉仕 道尻 誠助 直前会長 橋本八右衛門
社会奉仕 深澤 隆 副 幹 事 増田 敏
国際奉仕 紺野 広 会計補佐 松本 剛典

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八 戸 市 番 町 14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・公共イメージ向上委員長 渡辺 孝 同副委員長 峯 正一
同 委 員 宮下 悟 同 委 員 松林 拓司

国際ロータリーのテーマ — 2025～26 — 八戸ロータリークラブのテーマ

よいことのために手を取りあおう

感謝し、祝い、新たな一歩となる道標へ

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

八戸ロータリークラブ会長 石 橋 信 雄

7 月 は 新 会 員 の た め の 月 間 で す

第3360回例会 2025.7.9

▶ ゲスト

国際ロータリー第2830地区

ガバナー 米谷恵司さん

(青森モーニング)

南グループガバナー補佐 小林幹夫さん

地区副幹事長

橘 正弘さん (青森モーニング)

会 長 要 件 石橋 信雄 会長



連日暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今日からは少し気温が和らぐという予報でしたが、まだまだ暑い日が続く

のかなということ、体調を知らず知らずのうちに崩されている方も多いかと思っておりますので、皆さんどうぞご自愛いただきますようお願いいたします。

本日は、米谷ガバナーをお迎えしての公式訪問例会となります。朝10時から会長幹事面談、11時からクラブ協議会、そしてこの公式訪問例会となります。当クラブは4クラブ目ということで、昨日は津軽ロータリークラブ

さん、金木ロータリークラブさんということで、昨日遅くまでやられた後に朝早くから八戸にお越しいただきました。朝9時にはグランドホテルにいらっしやいまして、ちょっとお待たせしたかなという感じです。

2年前、わが八戸ロータリークラブから築館ガバナーが就任され、この2830地区内40クラブあるのですが、公式訪問に同行いたしました。その時も酷暑でした。わたしが行けないときは、佐々木さんと道尻さんにも運転手をお願いし、同行していただきました。ガバナーだけでなくロータ君も一緒でしたので、やることが多く汗だくになりながら、大変ではありましたが、感慨深いものであったと覚えています。

公式訪問の際には、どのクラブも熱烈歓迎していただき、いろいろお話をお聞きすることができました。そこで感じたのは、当たり前かもしれませんが、どのクラブもそれぞれの色がある、奉仕の形が違うということです。クラブの持つ歴史や文化、クラブが存在する地域の特色、そしてメンバーそれぞれの独自性が基礎となっており、それぞれのクラブの奉仕活動へと繋がっています。

本日お越しの米谷ガバナー、橘幹事の青森モーニングクラブさんでは、当時、棟方志功が青森出身ということで「第6回日米小学生版画交流作品展」を企画されていました。青森市内の小学生だけではなく、アメリカメイン州の小学生との版画交流作品展を行うというものでした。当時は棟方志功記念館がなくなるといことで、存続問題などいろいろマスコミを賑わせていて、まさにその辺の文化を感じながら素晴らしいことをやられているということをお願いしておりました。わがクラブでいえば、「八戸市競技かるた小中学生大会」や近年でいえば「小菊荘への支援」、直近でいいますと橋本直前会長の「八戸七夕飾りの自主制作事業」があります。

本日は地区スローガン「ロータリーの不易流行」を中心に、米谷ガバナーから講話をいただきます。メンバーの皆さんはぜひ八戸ロータリークラブの現在そして未来を思い浮かべながら臨んでいただきたいと思います。

幹事報告 中村 稔彦 幹事



- 7月ロータリーレート
1ドル=145円
- 八戸西RCより、八戸中心街清掃活動のご案内について
南グループとして協力して八戸市中心街の清掃活動の案内が来ています。
8月1日早朝ですので、参加できる方はご参加、ご協力お願いします。
- 7/23南グループ合同例会出欠について
7月23日(水) 八戸グランドホテル
午後6時半～です。
- 本日例会終了後、米谷ガバナーを交えて記念撮影を撮りますので、会場にお残りください。
- 会員のお祝い
会員誕生日 小井田和哉さん(7/13)
福島哲男さん(7/13)
澤藤孝之さん(7/13)
浜谷英幸さん(7/13)
パートナー誕生日 村井 達夫人 (7/9)
結婚記念日 種市良雄さん (7/9)

委員会報告

親睦・会場委員会 小田山紀暢委員長

○ニコニコボックスの報告



- 誕生祝 小井田和哉
澤藤孝之・妻神和憲さん
米谷恵司さん(青森モーニング)
ニコニコデー
橘 正弘さん(青森モーニング)

本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

小林幹夫・橋本八右衛門・道尻誠助

夏川戸 斉さん

米谷ガバナー、本日はよろしくお願ひします。

宮下 悟さん 暑いーーーーー！

石橋信雄会長

今年度会員のお祝いについて、先週の例会の補足です。会員誕生日は紅白のワイン（スペイン産）、パートナー誕生日はお米、パートナーのいらっしゃる方にも記念日にお渡しします。結婚記念日は今年度ご紹介のみとさせていただきます。

ガバナー講話

国際ロータリー第2830地区

米谷恵司ガバナー



7月1日から2830地区ガバナーを拝命しました、青森モーニングロータリークラブの米谷恵司と申します。今日は30分のお時間をいただきましてお話をさせていただきます。研修で皆さんにお話ししたことがとダブっていますので、聞き飽きた方はゆっくり寝起きしていただいて結構です。

きれいになったロータ君をぜひ地区のために活用したいと思います。きょうはロータ君の生みの親の築館さんが治療のために県外にいらっしゃるということで少し残念ですが、ロータ君がちゃんと見守ってくれているので、皆さんに一生懸命お話しさせていただきたいと思います。

6月上旬に予期せぬ出来事がありました。

皆さんご存じのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトが突然辞任すると。びっくりしました。どうすればいいですか！ マリオ会長のことばを地区に向けて発信しようと思っていたのがどうすればいいですか。ガバナーエレクトはみんな動揺してしまっていたへんでしたが、そんな中、R Iは迅速に次の会長を選任しました。R Iのやるべきこと、思いは変わらない、継承されるということだったので良かった。

新しいR I会長はイタリア人のフランチェスコ・アレツォ氏です。ワインの好きな方はフランスワインの新酒のボジョレヌーボーはフランス語から来ています。それに対してイタリアにも当然ワインの新酒があるわけですが、これは何というかご存じですか？ ヴィーノ・ノヴェッロ（Vino Novello）でものすごく発音しにくい。それと似たようなのがこのアレツォです。まさにイタリアらしい発音です。皆さんご存じのピノキオもイタリア出身です。現地ではピノキオと言っても通じません。ピノッキオ。イタリア独特の発音です。

フランチェスコ・アレツォ氏はこんな顔です。年齢はいくつくらいに見えますか？ 65才くらいと思う方？ 70くらいと思う方？ 75才前後と思う方？ 実は73才です。若いですよ。身長は175cmくらい。うちの同期のガバナーが国際協議会で日本人朝食会で一緒に誘っているのを見たら、それくらいなんだろうな。職業分類は歯医者さん、矯正歯科医。北イタリア・ヨーロッパ、アメリカなどで国際的に活躍されているということです。これは6.14付けMy Rotaryにも出ていますので、ご覧になった方もいらっしゃると思います。

先ずわたしの人となりを簡単に紹介させていただきます。米谷恵司と申します。関西ではマイヤ、コメタニという呼び方もあるでしょうが、津軽地方はヨネヤです。昨日津軽ロータリークラブ、金木ロータリークラブに行ったら米谷さんが3人ほどいました。職業は車屋です。カードック米谷オート代表取締役で、自動車販売整備、傷害保険代理店。本

年で61年になります。二代目です。昭和35年10月29日生まれ64才です。さそり座です。青森県立青森東高等学校卒業後、千葉工業大学機械工学科に入学して、無事4年で卒業しました。今、千葉工業大学は受験者数が日本一だそうで、それだけ人気がある。ですから当時のレベルより恐らく上がっていると思います。わたしは当時のレベルで受けたら絶対落ちているだろうということです。

先程ニコニコにコメントがありましたように、趣味は合気道で趣味の域を完全に超えています。青森市内にR A B学院がありますが、そこで講師をやっている、ちょっとですが報酬をいただいています。

今年1月に七段をいただきました。八戸地区には七段はおりません。今現役で一生懸命やられている方は五段です。青森県では現役七段はわたしを含めて5人です。亡くなった方を含めて9人。それだけ七段以上は簡単には取得できないということです。もっとも合気道をやって44年です。合気道は大学合格と同時に始めましたので44年になります。その間、ほぼほぼ休むことなく、コンスタントに。これが一つのわたしのストレス発散でもあります。身体を動かすことは体の中に当然頭があります、脳がありますので活性化されます。今日も青森に戻ったら稽古があります。たいへん嬉しいです。あとはスキーです。スキーは大好きです。

ロータリー歴は2005年1月、青森モーニングロータリークラブに入会しました。うちの父もロータリアンでした。父に連れて行ってもらって、誘われて入会しました。この辺の経緯はロータリーの友今月号に載っています。わたしの他33人のガバナーの横顔ということで紹介されています。10年前の2015-16年に鈴木唯司ガバナー年度で地区幹事長を拝命しました。その後2017-18年度中分区ガバナー補佐、2019-20~2023-24年度 地区R L I委員長歴任。それだけわたしにロータリアンとして影響があったのがこの2つだと考えています。

言い忘れましたが、今年度地区に石橋信雄

会長、小林幹夫ガバナー補佐をはじめ地区に出向していただいております。たいへん力強い方々を地区に輩出していただきましたこと御礼申し上げます。

その他の役職ですが、自動車関係の役職、青森法人会、交通安全協会、東北合気道連盟、県合気道連盟、青森地区保護司などです。

2年前の10月のR I 理事会でこのようなことが決定されています。昨年までR I テーマやバッジをつけていましたが、それは廃止します。それから会長テーマもたくさんありましたが、それもない。単年度でなく複数年使えるような行動計画を軸としたメッセージに変わった。それがこれです。**Unite for good =よいことのために手を取りあおう。**一緒に団結しよう、結束しよう、頑張ろうといった意味合いです。よいことのために手を取りあおう。

これはフランチェスコ・アレツォ氏からわたしに直接送られてきたメールです。ガバナーエレクト当時、1週間くらい前にガバナーエレクト全員に送ったと思います。

『就任1週間前、わたしは自宅の庭で孫たちと遊んでいました。その数日後、わたしはカルガリ行きの飛行機に乗り、このすばらしい組織を率いるという突然の責任を負うことになりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分のいるべき場所に導いてくれるものです。今年度の始まりに次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います。**よいことのために手を取りあおう** シンプルながら力強いイメージです。ロータリーでは、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題の対応の裏に2つのことがあります。

それは友情と信頼です。強いクラブは友情と信頼によって築かれます。わたしたちは友情と信頼の元に有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。わたしたちは肩書や称賛のためではなく、謙虚さ人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。わたしたちはわたしたちが人

間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。わたしたちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能がよい文化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

特に肝心なのは自分自身の中で、ということです。なぜなら変革は戦略から始まるのではないからです。変革は一人一人の人格が周りへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。』

これが最新のメッセージです。My Rotaryを開いても載ってないです。

継続される重点事項は皆さんよくご存じの4つです。1週間前に入会された方は初めてだと思いますが、これが来年、再来年くらいまで続くと思われます。大事なことは続けましょう、やり残していることは継続しましょうということです。

そして不可欠な3つの柱があります。キーワードは「**革新** イノベーション」「**継続性** continuity」「**親睦** パートナーシップ」です。この文章はマルティンスさんが書いたものですが、間違いなく継承される。確信しながらも一貫した伝統を築く。テクノロジー、社会の時代、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。

わたしはこの言葉を聞いたとき確信したのは地区のスローガンです。革新こそが変化するこの世界にわたしたちが適応する手段なのです。そこで革新を抱いて掲げたのがこれです。「**ロータリーの不易流行**」です。不易流行はご存じですね。松尾芭蕉が言った言葉らしいけれど、皆さん割とご存じないんだなと思っていました。説明いたします。ロータリーと不易流行の考え方と一緒にしたいと思います。不易流行はいつまでも変わらないことを示す「不易」と時代に応じて変化することを示す「流行」。この相反する概念が一つになったことばです。

1905年ロータリーが誕生しました。今年で120年です。この長い間ロータリーは変化し

たでしょうか。ロータリーは変わってしまったというロータリアンがいらっしゃいますが、当然何かしら変わらなければ存続はあり得ないと思っています。わたしは「変わらないことは変わることだ」その辺の見極めが大事だと思います。じゃ変わらない本質は何でしょう。それが親睦と奉仕だと考えています。大切なことを変えないために変えていくことも必要だということです。

皆さん企業人、会社経営、企業のトップの方が多数だと思います。企業の目的は何でしょう。それは倒産させないことです。去年と同じこと、一昨年と同じことをずっと続ければ当然倒産します。潰れます。それは時代の流れに沿っていない、対応していないからです。下って来るエスカレーターを想定します。人生は下って来るエスカレーターを登っているようなものです。その下っているスピードが時代の流れの速さです。その速さに遅れないように歩を進めなければなりません。皆さん聞いたことがあると思いますが、「ダイヤモンドはダイヤモンドで磨かれる」というように、人は人で磨かれます。進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンはこう言っています。「生き残る種は最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは変化に最も適応したものである。」まさにこれが人間です。人間です。ロータリーもその時代と共に変化し、変革して現在に至って存続し続けていると考えます。同士の皆さん、ロータリーの皆さん、今こそ変化して、変革して参りましょう。

さて地区基本方針です。

①**会員増強**：会員増強で地区、クラブの活性化を。重点項目具体的には会員増強1,150です。先ほど会長幹事会で今日現在の会員数を報告しました。1,112です。12人しか余裕がないということです。会員増強にどういうふうに取り組むかということで、会員増強委員会に各グループより最低1名実行者を出してもらいたい。たまたま八戸南の吉田さんがクラブ拡大会員増強委員長ですが、同じグループにそういう方がいらっ

しゃいますので、ぜひ南グループの方も高い意識をもって取り組んでいただきたい。

それからなぜ会員増強が必要なのですか。会員増強の必要性を認識しないと誰も納得して動かないです。その必要性を認識していただくために研修会セミナーを開催したいと思います。それから各グループ、全クラブで新会員候補者の情報共有化を図っていただきたい。自分たちのクラブだけ増強すればいいのではない。全体で取り組まなければいけないことなので、別にグループ内でなくてもいい。例えば弘前に知り合いがいて、奉仕活動にすぐ興味のある人がいるからその方を紹介するとか。全員で協力をしていただきたい。

それからここが大事なんです、実は。いくら一生懸命増やしても辞める人がいればそれは救われない。退会防止のために新会員の方々にロータリーのすばらしさを早く伝えていただきたい。新会員のセミナー、オリエンテーションなどいろんな言い方がありますがグループ全体、一つのクラブでやるのは限界もあるし、いろんなアイデアを持ち寄りながら、できればグループごとにやっていただきたい。当然そこにわたしも参加して、皆さんに訴えてもいいです。

それからロータリーの魅力を発信するためにどういうリソース、ツールがあるのか。RLIはすばらしい研修です。石橋会長、道尻さんはかなりRLIにはまっていますね。ファシリテーターくらいやられています。人間的に成長できる、ロータリアンとして成長できるのがこのRLIだと思っています。

②**会員増強の必要性と相乗効果**：まず健康的なクラブになりましょう。まず皆さんが元気で生き生きと、会ったら挨拶をして元気になりましょう。健康的なクラブは当然元気になります。そして変化するんです。変わるんです。変化しながら成長するんです。今の時代、安定はあり得ません。衰退か成長です。会員のいろいろな考え方や経験は革新を促します。地域のニーズを見極めるうえで欠かせないものです。

③**奉仕活動の拡大と多様化**：対話が増えるこ

とで奉仕プロジェクトが可能になります。いろいろなことが可能になります。規模を拡大できるだけでなく新しいアイデア、専門知識、多様な活動が可能になります。いつも同じ人と同じことばで考えると決まったアイデアしか出てこない。昭和は昭和でいいところがたくさんありますが、令和は違った考え方をするんです。ですから昭和、平成、令和の方々がバランスよくクラブの中にいると、いろんなおもしろいアイデアが入ってくると思っています。

④クラブの活性化とネットワーク：これは会員がいろんな役職、ポジションに就いていたら、法人会でも交通安全協会でもそういうところでもいろいろPRできるということです。奉仕に興味のある団体と一緒にコラボして、同じ事業をやってもいいじゃないですか。そうするとわれわれロータリアンがどういうことをやっていて、どういうメンバーがいるかということをPRできると思います。

⑤変革とそれに対する効果と理由：今年度から地区委員会の副委員長制度を新設しました。これは3 years rolling goalsの継続性を保ちましょうということです。

青森クラブや八戸クラブなど人が多いから地区に出向できるわけでもないです。野辺地クラブのように会員が少なくてもたいへん理解があって出向している方がたくさんいます。ですからどんどん地区に出向させていただきたいと考えています。

優秀会員、クラブ表彰を大々的にやりたい。合併に対してRIから通達がありました。ですから築館年度、花田年度、米谷年度の3年間にどのクラブの誰がスポンサーをやったかということを調査して、皆さんで褒めたたえたいと思っています。

先ほちょっとお話しさせていただきましたが、My Rotaryにぜひ登録していただいて、活用していただきたい。リソースがたくさんあります。ただ世界で使っているのじゃっかん遅いです。それはちょっとイライラするところもあるでしょうが、時間がかかっても

ちょっと我慢強く使っていただきたいと思います。

⑥ロータリーカードについて：現金派の方もカードで決済する方もいると思いますが、今はカードの時代も過ぎて、カードレスの時代に入ってきています。だからちょっと時代が遅れていると思います。ただこれに対して日本でもRIでもついて来ていない。スマホをかざして決済するauペイはご存じですよね。これのロータリーペイを作ればどうでしょうか。スマホがあれば電車に乗れる、物が買える。すべてこれ1つで終わってしまう時代がそろそろ来るのかな。

しかしながら、その前にまずはロータリーカード。ロータリーカードを作っていただいて、それから使っていただきたい。これは使用金額によって0.3~0.5%が自動的にポリオに寄付されます。皆さん、ポリオの寄付に目標額がありますよね。カードをロータリーカードに変えることで、今までポイントを貯めようと思ったカードでなくロータリーカードに変えるによって自動的にこうなるんだということです。

⑦3 years rolling goals：これは継続性を重視するということです。花田年度ですばらしいこと、その前に築館年度のロータ君です。先ほども質問がありましたが、せっかく作ったので大事に使わせていただきたいと思います。その象徴としてロータくんバッジを作っていますので、これは地区の公式バッジとして使用しています。ぜひ皆さんもロータ君をPRする意味でもつけていただきたいと思います。

⑧今年できたものですが、クラブサポートミーティング：地区とクラブの絆を構築する。地区がクラブを助けましょう、サポートしましょうという試みです。これについては花田直前ガバナーが担当してこちらを進めていくということで本人の了承を得ています。

具体的にどんなことをやればいいのか。できることからやればいいんですよ、できることから。できないことをやるのではなく。

例えば本日の例会、先ほど小林さんに聞いた
ら3か月に1回テーブル編成をしている。さ
すがだなと思いましたよ。あるところに行っ
たら毎回席が同じなんです。ということは、
両隣が毎回同じ。せっかく仲間としてロータ
リー活動をやっているのに、いろんな人と話
しをしたくないですか。いろんな人と親しく
なりたくないですか。その時に毎回変えるの
も一つですが面倒くさいという方は、1カ月
でも2カ月でも3ヶ月でもいいんですよ。定
期的に場所変えとして、皆さん親睦を深めま
しょう。

例会も自分たちの例会だけでなく、グルー
プごとやってみるとか。こちらはけっこう盛
んに合同例会が行われているみたいですが。
グループを越えて、例えば青森と八戸で何か
をやるとか。そういうこともやってみてはど
うかな。心の変化もあるし、気づきもあると
思います。

地区を活性化するためにどんなことができ
るのか、どんなことをすればいいのか。これ
は自分たちのクラブを知ることが大事だと思
います。こちらのクラブは増強も進んでいる
だろうし、しかしながら弱いところもあるは
ずです。じゃ、どうしたらどれがわかるの
ですか。My Rotaryです。My Rotaryにあり
ます。「クラブの健康チェック」があります。
それをぜひ全員で読んでください。そうす
ると全会員の評価が出ますので、それによ
ってここが弱い、ここを強くしよう。ここは
良いからここを伸ばそうとなります。ぜひ八
戸クラブとして、この強みを生かしてナンバ
ーワン、オンリーワンを目指していただか
い



思う訳です。いいところはたくさんあります
よ。ただ足りないところもあるところは、40
クラブ全部に共通するところです。人数が多
ければいいわけではない。少ないから悪いわ
けではない。しかしながら増強は絶対必要で
すよ。仲間を増やすことは必要です。

一生使える吉田松陰。吉田松陰はご存じで
すよね。これを毎回研修で皆さんにお話しし
ています。これに出た方はいらっしゃるか
と思いますが、読むと長くなりますから。結論
から申し上げて夢なき者に成功なし。夢や希
望のない者に成功はない。目標をもって努力し
ましょう。目標がない人は成功はありません。

それからわたしが大好きな家訓です。柳生
剣。柳生宗矩という武芸家がおりまして、徳
川家の剣術指南役なんです。昔は剣もやって
いました、その指南役、先生です。その柳
生家の家訓としてこんなことが載っています。
「小才は縁にふれても縁を生かさず、中
才は縁にふれても縁に気づかず、大才は袖
振り合う縁をも生かす」。わたしは皆さんは
“大才”だと信じています。このすばらしい
縁、クラブの縁、それからグループ、地区の
縁を生かして、来年の6月に国際大会があり
ますが、そこにもロータリアンが集いますの
で、そこでも縁が生まれると思います。ぜひ
全部“大才”でいていただきたいと思いま
す。今お話ししたのは、ただ単に武術の教えだ
けではない。人とのつながりの機会を大切に
する人生哲学としても受け継がれています。
また柳生宗矩は剣禅一致といいますが、剣と
禅の境地は一緒だということを言っています。
これは人生全般に応用できる教えと、今でも
受け継がれています。

生きていると皆さんから義理、恩情を受け
ます。わたしの場合、その恩はわたしがガバ
ナーをやって皆さんが良かったと思う。そ
れはわたしが多少ならずとも皆さんにちょっと
恩を与えたのかな。そうなければいいと思っ
ています。与えた恩は水に流し、受けた恩は
石に刻む。一緒にロータリーを楽しみながら
頑張っていきましょう。本日はご清聴ありが
とうございました。

謝辞：石橋信雄会長

米谷ガバナー、本日はお忙しい中、八戸ロータリークラブのためにお話をご指導ご鞭撻いただき本当にありがとうございます。本日のお話に対処して、一年間やっていきたい

と思います。暑いので体調管理にお気をつけていただいて、ご自愛いただければと思います。お酒を控えていらっしゃるところ恐縮ですが、橋本前会長から日本酒をお渡ししたいと思います。



出席報告						出席委員会
第3359回例会（7月2日）			第3357回例会（6月18日）			
出席率		76.9%	出席率		61.5%	修正出席率 64.6%
総会員数		67名	総会員数		68名	メイクアップした人数 2名
出席義務会員 65名	出席免除会員 2名	欠席数 15名	出席義務会員 名	出席免除会員 名	欠席数	23名

出席報告						出席委員会
第3360回例会（7月9日）			第3358回例会（6月25日）			
出席率		61.5%	出席率		100%	修正出席率 100%
総会員数		67名	総会員数		68名	メイクアップした人数 0名
出席義務会員 65名	出席免除会員 2名	欠席数 25名	出席義務会員 0名	出席免除会員 0名	欠席数	0名